

特集

水戸市植物公園の温室が 新しく生まれ変わりました

水戸市植物公園の温室が、4月29日にリニューアルオープンしました。新しく生まれ変わった温室の魅力や見どころを紹介します。
問合せ／植物公園(☎243・9311)

リニューアル進行中

昭和62年の開園から30年以上が経過した市植物公園。令和元年度から、施設の改修や園路の改修、植物の植替えなどのリニューアルを実施しています。

このうち、観賞大温室、熱帯果樹温室などの改修が完了し、4月29日にリニューアルオープンしました。今後も、そのほかの施設の改修や新たな駐車場の整備などを進めていきます。

植物と建築の調和

市植物公園の温室は、日本全国で温室設計に携わってきた瀧光夫氏の設計により造られました。最大の特長は、植物と建築が美しく調和する空間となっていることです。「温室の建築化」というコンセプトのもと、自然物と人工物をバランス良く配置。石を多く配置したり、あえて温室内に高低差をつくらしたりすることで、建築の美しさも感じることができるよう空間となっています。

植物を観賞するだけでなく、建築との調和を楽しむ温室という、当時としては斬新な発想が評価され、開園の翌年に日本造園学会賞を受賞しました。

本来の美しさを取り戻す

今回のリニューアルでは、開園当初の景観を復元することを目標に改修を進めました。温室では、成長しすぎた植物の植替えや種類の見直し、窓ガラスの交換などを行いました。明るく開放感ある空間で、より一層、植物と建築の調和を感じることができるようになりました。

また、新たな見どころづくりも行っていきます。思わず写真を撮りたくなるような楽しい温室となるよう、リニューアルを機にフォトスポットを設けました。新たな見どころについては、次ページでも紹介していきますので、あわせてご覧ください。



▼水戸市植物公園

開園時間／午前9時～午後5時(入園は午後4時まで)
休園日／毎週月曜日(祝日と振替休日の場合はその翌日)、12月29日～1月3日

入園料／大人300円(250円)、小・中学生と県央地域に居住する60歳以上の方150円(100円) ※()内は、30名以上の団体料金

場所／小吹町504

※花の開花情報など、詳細は、市植物公園ホームページをご覧ください。同園(☎243-9311)にお問合せください。



年間パスポート販売開始！
新たにお得な年間パスポートの販売を始めました。

価格／大人1,000円、小・中学生と県央地域に居住する60歳以上の方500円

※申込時は、住所、氏名、生年月日が確認できるものをお持ちください。



木村弥生さん

西川綾子園長

大西美玲さん

インタビュー
誰もが笑顔になれる温室へ

園長の西川綾子さん、植栽を担当した木村弥生さん、大西美玲さんに話を聞きました。

設計思想を生かしたい

西川：リニユールを進める中で、改めて設計の素晴らしさを感じました。「温室の建築化」というコンセプトのもと、植物と建築が調和した空間―瀧先生が温室に込めた設計思想を生かしてリニユールしました。

木村：何をどこに植えるか―温室の景観に合う植物を、相談しながら植えました。

西川：建築に合わせて植物を選ぶのは難しいけれど、楽しい作業でした。また、色彩のバランスが良くなるように植替えるなど、さまざまな工夫をしています。

笑顔になれる場をつくる

西川：目指したのは、みんなが笑顔になれる場です。植物が好きなの人も、そうでない人も、子ども

もも大人も楽しめる温室にしたいと考えました。

珍しい種類や、栽培の難しい品種を育てていることも売りですが、それだけではありません。多肉植物のハリネズミや、メガネをかけたサボテン、食虫植物の顔出し看板など、思わず笑ってしまうようなものもあります。木村：もちろん植物自体にも注目してほしいです。特にペトレアがおすすすめ。これほど多くの花を咲かせている植物公園は、全国的に見ても珍しいです。咲かせ方についての情報が少ないので、日々試行錯誤しています。

大西：私は、ドラセナ・マルギナータを見てほしいです。個性豊かな枝ぶりを生かすように、向きや角度を考えて植えました。華やかではないかもしれませんが、きれいな植物ですよ。

新たな見どころも

西川：水戸の植物公園といえば、この景観！というような場所をつくりたいと考えました。新たなフォトスポットとして、花が羽のように広がる「クジャクのトビアリー」(表紙に掲載)や、

好きになるきっかけに

大西：特に子どもたちに来てほしいです。私自身、子どもたちから植物が身近にあったため、自然と好きになりました。水戸の子どもたちが植物に親しむきっかけになればうれしいです。西川：市民の皆さんに楽しんでほしいです。植物と建築の調和を感じるができる温室へぜひお越しください。



たくさんのお花を咲かせるのが難しいペトレア



(左から)「花の滝」とその背後に植えられたドラセナ・マルギナータ、食虫植物の顔出し看板、多肉植物のハリネズミ、石積みみの「ディバインゲート」